

## 長崎県社会保障推進協議会

発行責任者:川尻瑠美

〒850-0056 長崎市恵美須町 2-3-2F 長崎県保険医協会気付

TEL 095-825-3829/FAX 095-825-3893

Eメール nagasaki-hok@doc-net.or.jp

### 医療福祉施策に関して長崎県と懇談

長崎県独自の積極的な医療福祉施策は…?

オンライン開催



県社保協は8月12日に国保など医療福祉施策に関して県とオンラインで懇談しました。県社保協からは本田会長、山下優子幹事など5人、県からは中尾福祉保健課課長や本土医療政策課参事、川内野国保・健康増進課課長ら9人が出席しました。

#### 医療機関・介護事業所への財政支援は？

コロナによって減収した医療機関・介護施設へ国と協力した財政支援を求めたのに対し、すでに国へは要望していると述べた上で、「2019年度と昨年度の比で、医療は国保のレセプトデータだけでみると全体で約3%の減、金額では約85億円の減になっている。医療機関の経営悪化に歯止めをかけるよう、診療報酬のあり方も含めて、引き続き戦略的・継続的に対応するよう国に要望したい。介護は0.何%の微減。長崎市や佐世保市など感染が広がった地区においては第1波、第3波の時期には通所事業所の利用者が減っているところもあるが、県下全域でみれば通所事業所等も含めて介護報酬は横ばい」と答えました。社保協からは、「医療機関では、感染防止補助金や発熱外来補助金など国に申請を行った補助金の入金が遅れている。さらに、発熱外来の補助も終わっているが、感染が続いているので止めるわけにもいかず続けている。苦しい財政の中でも県として何らか考えてほしい」「介護保険では、減っている事業所があるということが大変



なこと。診療報酬の上乗せや臨時的な取扱いもあるが、報酬が上がれば利用者の負担が上がるので算定できないという事業所もある。制度の矛盾もあり『使えない』という声があることも認識してほしい」と重ねて要請しました。

#### 国保受給者への支援は？

国保では、コロナ禍で収入減少した場合の保険料や窓口一部負担金の減免制度の拡充や、保険証や所持金がなくても医療を必要とする人が受診をためらわない施策を講じることなどを求めましたが、国が示した範囲内での対応にとどまり、県独自の施策の強化には言及がありませんでした。また、国保の赤字解消・削減計画の立案については、保険者努力支援制度の指標達成ありきではなく、被保険者の生活実態を踏まえての対応をあらためて求めるとともに、コロナ禍による医療費の減少を勘案して保険料を少しでも低く設定するよう要請しました。

#### 子育て支援は？

子育て支援では、子ども医療費助成制度の助成対象年齢を中学卒業までに引き上げることや妊産婦医療費助成制度の創設を求めましたが、「厳しい財政状況を踏まえると難しい」「全国どこに住んでいても



同じ条件で助成を受けられることが望ましい」と回答しました。経済的に困窮している世帯への教育・学習、経済的支援などの施策を強めるよう求めたのに対しては、生活困窮者自立支援事業やひとり親世帯への支援、私立の小中高、大学、専門学校に通う世帯へ国が行ってる支援の内容を示し、私立高校の生徒がいる世帯へは県が上乗せ支援していると紹介しました。コロナにより家計急変した学生等がいる世帯への対応について質すと、「県立大学では毎年4月に学生の実態調査を行っており、アルバイトをしてい

るか、どのくらいの収入があるのか、アルバイトで得た収入を何に使っているのかを経年でみているが、今年度は昨年度に比べて厳しいという結果が出た。また、私立の専門学校の連合会を通じて、学生の実態を各学校が調べた結果も聞いている。それらを受けて、今回6月の補正でそういう学生に対する支援を予算化した」と述べました。

<参加者の感想>

県はいつも「お金(予算)がない」というが、カジノを誘致したり、ムダなダムをつくろうとしたり、お金がないなんてことはないはず。お金の使い方が問題。県民のいのちや暮らしに本当に必要なことに使う予算について、国任せでなく県がどれだけ力を入れるか。これからも声を届けていくことを続けていきましょう。

**いのちまもる緊急行動へご参加を！！**



中央社保協や全労連などの中央団体が呼びかける取り組みです。「政府に政策転換を求める国民的行動に立ち上がろう」ということで、社保協は社会保障拡充の要求を掲げ、緊急行動に参加します。



8月24日には、県労連主催の鉄橋行動が予定されていましたが、コロナ拡大により屋内からの動画配信に変更(写真)。県社保協からもメッセージを送りました。

**9月5日(日)全国一斉アピール行動**

コロナ感染により具体的な行動は不透明ですが、どこでも行える行動として、ツイッターデモへの参加を呼びかけます。中央団体のツイッターへのリツイートをお願いします。



Twitter アカウントは  
**@zen\_inochi**

ぜひ、ご参加を！



**長崎県社会保障推進協議会・第25回総会のごあんない**

2021年度の県社保協の総会&記念講演を、以下の日程でオンラインで開催します。オンラインでの参加が困難な方は、個別にご相談ください。

**2021年9月8日(水)** 18:45～ 総会  
19:20～ 記念講演

オンライン開催

記念講演「コロナ禍の社会保障、現状と課題について」

講師 <sup>まさてる</sup>長友薫輝先生 (三重短期大学教授)



8月28日・29日に中央社保学校が開催されました。29日のシンポジウム「コロナ禍の社会保障、課題は～医療、保健所、保育、支援活動の現場からの検証～」のコーディネーターを務められました。医師、保健師、保育士のコロナ禍での現状、相談活動をする労働組合の現状が報告されました。長友先生は「4名からの報告で共通しているのは、コロナ禍でもともと持っている社会保障の不十分さ、課題が露呈したということ。その中で現場が努力して奮闘しているということも露呈したと思う」とまとめられました。随所にユーモアを交えながらの進行で、講演も楽しみです。(川尻)



●● Zoom ウェビナーでの開催です ●●  
ウェビナーID: 845 6236 7180 パスコード: 267352